

神戸っ子 昭和40年1月20日第三種郵便物認可
昭和45年11月1日印刷 通巻115号 昭和45年11月1日発行 毎月1回

★ 郷土を愛する人々の雑誌

神戸っ子

11
MAGAZINE
KOBEEKO
NOVEMBER
1970 NO.115



BALMY AUTUMN

《さわやかな秋》



冷たい風が霧のなかから
ヒューと吹いてきて
私の長い髪も帽子も
ニットのすそまでも
ゆらしていきました。



婦人服飾
神戸

ベニヤ

- ★神戸 三宮センター街
- ★神戸 三宮ニチイ2F
- ★神戸 さんちかレディスタウン
- ★大阪 上本町近鉄百貨店3F
- ★大阪 梅田阪急三番街
- ★東京 日本橋東急百貨店3F

Beniya
LADIES SHOP
KOBE-OSAKA-TOKYO

young pocket

世界の宝石店

MIKIMOTO

落ちつきのある光沢

ミキモトパール

可憐な真珠の一粒一粒が
あなたの胸元や指先に
幸福をはこびます。



PB 1024 ¥ 10,000



PB 680 ¥ 9,000



PE 547 ¥ 13,000



PR 67 ¥ 36,000

御木本真珠店

本店=東京=銀座4丁目TEL.535-4611

神戸=三ノ宮=神戸国際会館

TEL. 22-0062

大阪=堂島=新大ビル

TEL. 341-0247

高島屋・阪神・阪急・松坂屋

京都=河原町御池上ル(京都ホテル北端)

TEL. 241-2970

京都ホテル・京都国際ホテル・都ホテル

●ミキモトでは通信販売を
致しております。

カタログのご請求お問い合わせは
東京都中央区銀座4-5-5

御木本真珠店メールオーダー係へ

☎ 104

© 1970

私は外へ出てみた〈5〉 —メキシコ万歳

万歳ノ「メキシコ」
口バに腰かけて
蕃刀しっかとセニョール 黒い立派な口ヒゲ
暑い陽のカラカラの大地を走る



●神戸っ子'70

笹田

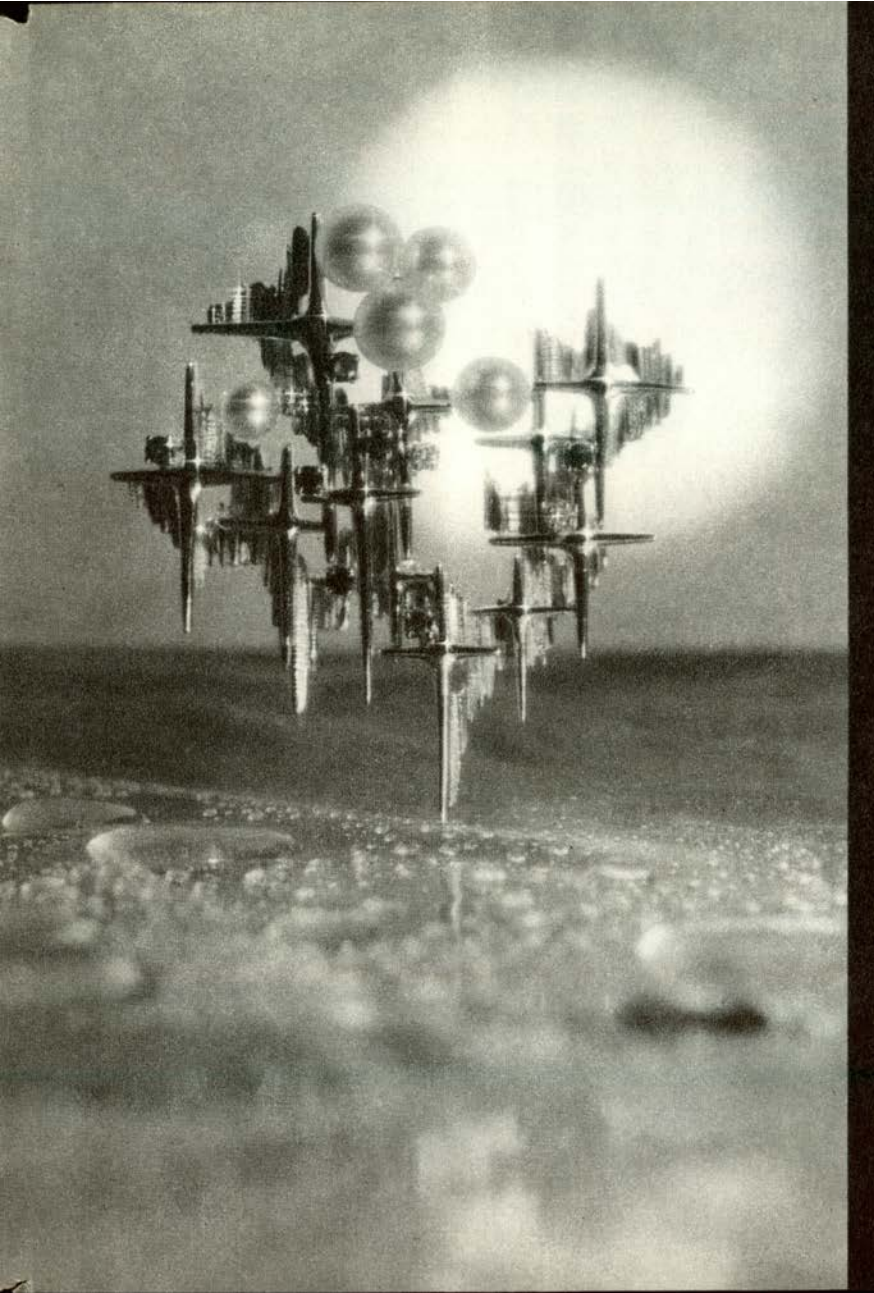
泉

(11PMホステス)

カメラ・米田定蔵

「親子ですネン」とホストの藤本義一さんに、大阪読売TV「11PM」の新ホステス「いづみちゃん」を紹介された笹田泉さん(23)は、神戸女学院大を卒業してすぐに、万博電気通信館のショーの司会と通訳をひきうけ、大役が終ったとたん、市川靖子の後をひきついだラッキーな女性。「先週の火曜日が初めてだったのですが、藤本さんについて行くのがせいじっぱい。ホステス役が決ってから、はじめてこの番組を見たんです。」と飾りっ気のない言葉。音楽担当の小曽根実さんが「ぼっと出てきたつくしんぼうみたいや」と。さて、フレッシュなつくしんぼうムードが深夜番組の11PMでどうのびるか楽しみだ。芦屋市在住。(写真はスタジオで)





秋

月のしずく

花嫁の幸

タサキパール

TASAKI PEARLS

田 崎 真 珠

本 社・神戸市貴合区旗塚通6-9
三 宮 店・神戸新聞会館サニータウン
さんプラザ店・さんプラザ 3F 西角
パールファーム・神戸市灘区六甲台町2-4
(六甲台工場 ショールーム)

ブ ラ ザ 店・大阪ホテルプラザ内
パールギャラリー・東京都港区赤坂1-7-3-17
銀 座 店・東京都中央区銀座6-7-19
ヒ ル ト ン 店・東京ヒルトンホテル内
オ ー タ ニ 店・ホテル・ニューオータニ内
札 幌 店・札幌パークホテル内

あなたの真珠はパール・マークのお店で
日本真珠小売店協会加盟店



● 神戸っ子'70

井上治郎

〔日本山岳会エベレスト登山隊
第二次偵察隊員〕

カメラ・米田定蔵

濁り酒が喉をカッと通る。冬のエベレストの嶺は、今日も吹雪。観測テントのきしみの中で、独り計器を見る。井上治郎。日本山岳会エベレスト登山隊の第二次偵察隊として、昨年八月から、エベレスト四千米の高地で越冬し、気象観測に一年を費やした。

「エベレストの気象は、日本の気象に大きな影響を与えているのに、データ不足なんです」と気象のデータ収集への情熱は、独りテントを張る淋しさをふっきつてヒマラヤで三年間、気象観測をする計画をたてている、ということもなげに言う。エベレストは実に楽しい、と言う。

山に登りたいがために、六甲高校から京都大学で気象学を専攻し、一昨年、京大のバタゴニア探険に参加、経験を豊かにした。現在、京大大学院修士二年。二十五才。

（写真左・王子の登山研修所にて右・エベレスト・ウエスタンチームにて）

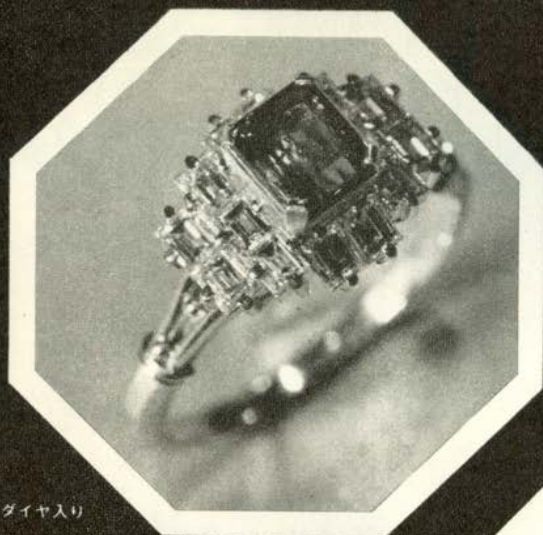


・宝飾店
Tajima
 タジマ

元町2・TEL 33-5761代表

タジマでは、宝石の鑑定を無料でご相談に
 応じておりますので、お気軽にご利用ください

確信をもってタジマの眼が選んだ宝石の名品



白金台ダイヤ入り
 エメラルド



ダイヤ入り白金台エメラルド

ある集い
★
六甲クラブ



ひんやりと秋の雨が降る日曜日。磯上グラウンドでは雨を待って若者たちが走る。冬に向かってラグビーシーズンの開幕昨年十一月結成されたラグビーチーム、六甲クラブは、甲南大学を始めとする、高校・大学のO・B、会社員、デザイナー、自家営業、学生などによって構成されている数少ない混成クラブチームである。

アタックしアタックされ、ひたすらボールを追って走り続ける。グラウンドの芝と泥と汗まみれそれがまた楽しくって仕方がないかのように、白いユニフォームがみるみる茶色く染まっていく。

体と体の力強いぶつかりあい、男だけの知っている爽快感が拡がる。

各々の忙しい仕事の合間をぬっていつもラグビーで明け暮れる休日。来年は国体予選優勝をめざして一層の飛躍を誓っている。(十八ページ参照)

★泥まみれの雄姿は右上から
日下雄一郎、中島光正、山内一成、土田浩或、遠山良彦、更井良宏、稲部昭、伊達陽二、北田力、彦英信、安河内茂、
右下から谷岡尚武、安斉博、渋谷聡、荒詩直樹、稲継文秀



KANEKO
(Pearls Salon)
 衣裳 **ルシアン** 野村

かねこ

未来の
 ファッション

未来の
 ファッション

コーカシア人種（白人）の
 美を理想とする考え方が
 茶、赤、黄の肌が、美しい
 という基準にとって
 代わられるだろう。

肌の白い女性に肌に色をつけ
 そのため特別な化粧品が
 必要になるだろう。

（A・ゴールド）

おしゃれをリードする……

 **金子真珠**

神戸 神戸市東灘区住吉町堂ノ本1824

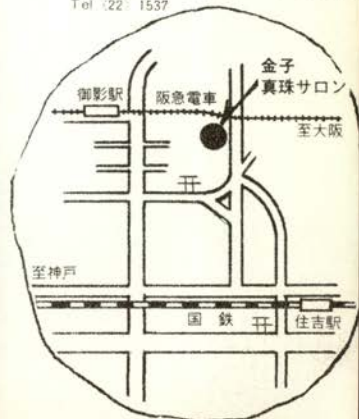
Tel (81) 2881-3

東京 東京都中央区銀座7丁目8-5 金城ビル

Tel (573) 1775

長崎 長崎市大黒町14-5 長崎ビル

Tel (22) 1537





さんちかニューファッションショー



スターサイン会 (写真中央、左より佳川ヨコ、青江三奈、田村ひろみさん)

●コウベスナップ

噴水除幕式



より一層明るく、美しくなったファンシータウン



森と泉と太陽のプロムナード

Santica Town

開店5周年を記念して大改造した神戸・三宮地下街さんちかタウンが、10月25日「さんちかオープニングフェア」で店開きしました。

自然のムード“森と泉と太陽のプロムナード”といっそう美しく、明るく生まれ変わった各タウン、女店員の服装も紫の制服に統一し、新しいさんちかタウンは、さよならのいえない街という唄も生まれました。

ファッションを創る女性の街レディスタウン



中央コンコースにある可愛い泉



毛皮のやさしい肌ざわりがなつかしい

冬がもうそこまで来ています。

新装なったさんちかタウン・ムラタで、
冬のエレガンスをご準備ください。

真珠・毛皮と舶来服飾



さんちか*レディスタウン

TEL (078) 39-3886

村田真珠株式会社

有限会社 村田

神戸市生田区元町通6-35

明邦ビル2F

TEL (078) 34-8041

ネクタイの

元町バザー

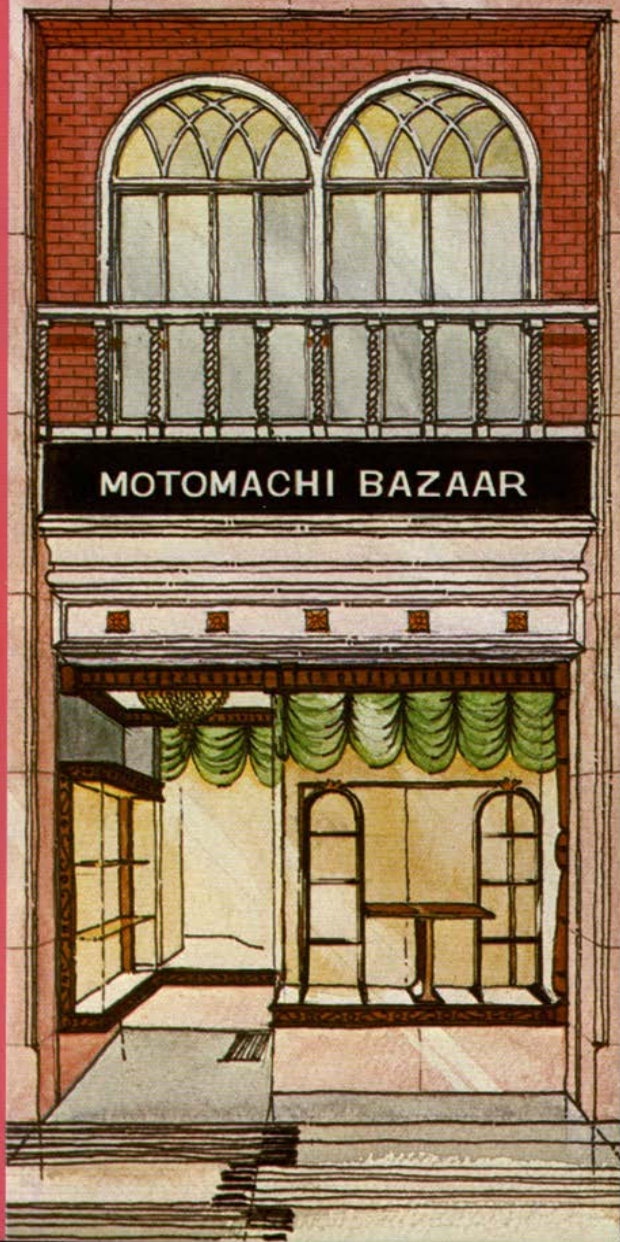
神戸・元町1丁目
TEL (33) 1401

★仮営業所は山側向い

東京  東急百貨店
渋谷本店／日本橋店

MOTOMACHI BAZAAR

12月3日に
新しく装って
おめみえします



世界のオシャレをおとどける

う ね

神戸店 神戸市生田区元町通1丁目64 TEL. (078) 33-3112
東京店 東京都中央区日本橋通1ノ9ノ2 東急百貨店日本橋3階 TEL. (03) 211-0511内線631
東京店 東京都渋谷区道玄坂2-24-1 東急百貨店本店4階(渋谷) TEL. (03) 462-3435 (直通)

表紙／小磯良平

2 Second Cover／中西 勝

5 神戸っ子'70／カメラ・米田定蔵

①笹田 泉 ②井上治郎

7 ある集い／六甲倶楽部

9 コウベスナップ／さんちかタウン

13 わたしの意見／直木太一郎

15 随想三題／「万博詣で。神戸詣で」玉井 孝

「のじぎくの塔と風車」藤本ハルミ／「成駒屋勝っちゃんの思い出」西脇親

18 ある集いその足あと／六甲倶楽部／日下雄一郎

21 れんさい随想18芦屋哀愁／林田重五郎

24 随想／本山近辺／小島輝正

26 随想／幼いころの思い出／中山尚子

29 特集(御影・本山・芦屋)1

対談 渡辺万太郎 芦屋市長一吉原 治良

35 経済ポケットジャーナル

36 神戸のアーバンライフ／水谷頼介＋チームUR

37 神戸のモダンリビング／高月昭子

38 技術ジャーナル／諸岡博照

42 特集(御影・本山・芦屋)2／街のおしゃべり①

六甲・御影・本山プレイゾーン

49 丸本耕個展より

50 神戸遊戯誌86／アクアラング②／青木重雄

52 動物園飼育日記54／亀井一成

56 シリーズコミックス／岡田淳

68 特集(御影・本山・芦屋)3／グラフィア特集

73 詩のあるアングル／御影・和田悟朗・緒方しげを

84 特集(御影・本山・芦屋)4／座談会／阪神間は混合文化の街
坂本智元・村上次男・中西 勝・水谷頼介

93 特集(御影・本山・芦屋)5／街のおしゃべり②／芦屋・夙川プレイ
ゾーン

98 もとまちフローラジャーナル

102 CINEMA (54) 淀川長治

104 恋愛入門9／月見草／H. ジュニア・え／納健

106 ショットショット(12)文／向井修二・え／石田律子

108 ビットイン

111 神戸百店会だより

112 ポケットジャーナル・花時計

116 連載小説／第6回「キリシタンの墓」小山牧子／え・石阪春生

124 連載小説／第8回「曲線ハイウェイ」武田賢太郎／え・横塚隆

133 海・船・港① さらば老兵園南丸／園南丸を訪ねて

134 カメラ散策／林崎海岸・緒方しげを

カメラ・米田定蔵／カット・岡田 淳

JOHN



ねエ! 今年のコートは?

ツイードのロングコート それとも生成のコットンコート
スポーティなの それともドレスリーなもの
あなたのコートはあなたのセンスで決めなくちゃ

● 3 F / コート売場に 200 デザイン 以上の コートを 取揃えました

東京・キンザ
San-ai 三愛

三宮店 センター街さんプラザビル 2・3F

☆わたしの意見

公害と

ロータリー

直木太一郎

〈国際ロータリー・元ガヴァナー〉
神港倉庫株式会社社長



★人間と環境のギャップ、それが「公害」です

公害問題は周知の通り、世を賑わしていますが、これは世界的傾向でもあって、この夏、アメリカにおきまして、国際ロータリー元会長の東ヶ崎氏と、現会長のウォーク氏が、公害について対談を行ない、全米へテレビで放映された。これは、国際ロータリーの今年度の掲げるテーマの一つが、「公害」であることを明示したわけだ。

その対談では、一九六〇年代は、経済成長にともなう社会のひずみが、世界的な規模にまで、人と人との間のギャップ、諸国間のギャップ、人間の環境のギャップの三つを生みだした時代だという。そして、「人間と環境のギャップ」が「公害」なのです。

一九七〇年代の課題は、この三つのギャップに「橋をかける」ことなのです。

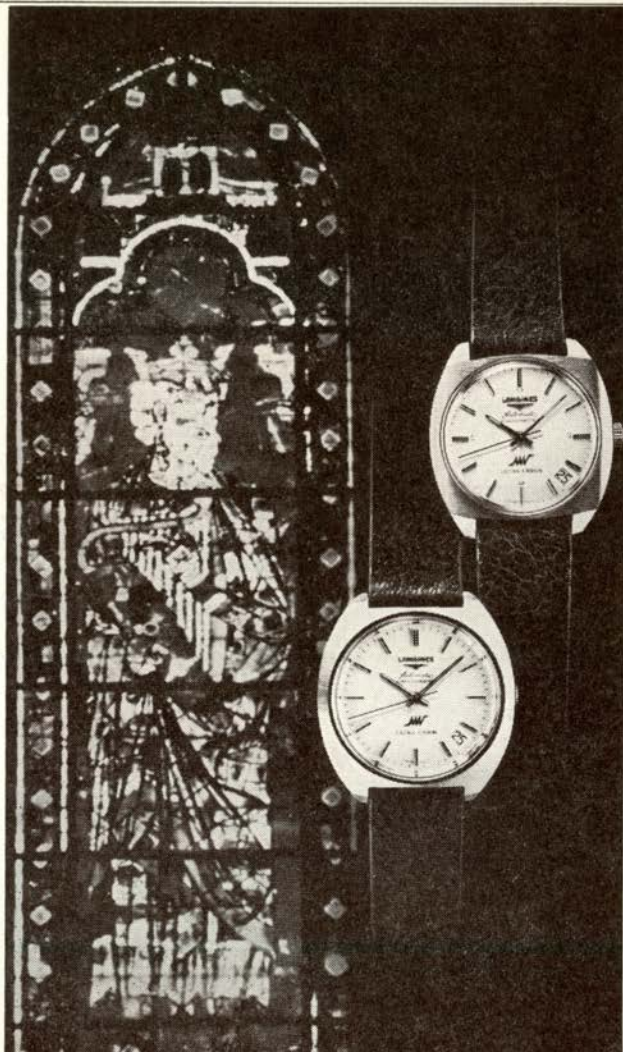
★公害にたち向かうロータリーを、監視してもらいたい
日本の公害の特徴は、それもヘドロ、カドミウム、多量の亜硫酸ガスなど、これは「公害」でなく、原因も、責任所在もはつきりしている「私害」であるところに問題があるのです。

幸い、ロータリー会員というのは、日本では指導的立場にいるものが多く、それだけ、各人が公害、私害の除去にとり組んで、自分の企業、業界に働きかけたら、少なくとも、「私害」に関するものだけは、解決の方向に向かうのではないでしょうか。

特に最近問題になっている大企業の「私害」は、経営者のモラルの低下と見られることも多く、その経営者がロータリアンであるだけに、ロータリーの存在価値が疑われても仕方がありません。

今年は、ロータリーが日本に渡って五十年目。その記念事業として出した「ロータリアン読本」に書いてある、ロータリー創始の精神に戻って、ロータリーが本気で公害に取り組むのだという姿勢と実践を、一般の人に監視してもらいたいものです。

選ばれた人を選ばれるスイスの傑作ロンジン



ヨーロッパ調のオーソドックスな風格を
秘めた〈クロノメーター〉。高振動腕
時計の最高峰〈ウルトラクロン〉をより
にかけ選びぬいた逸品中の逸品です。
金側、ステンレス側… デザインも
豊富にそろっております。ぜひいちど
ご来店いただき、お手にとっておた
しかめください。



LONGINES

特約店



美甲時計店

元町店・元町三丁目 TEL33-1798

三宮店・さんちカフンシー・タウン TEL33-8798

随想三題



カット・中島節子

万博詣で
神戸詣で

玉井 孝

△朝日放送アナウンサー▽



島津貴子さんと筆者

ンだったのです。

まず、島津貴子さん。美の共鳴度の高い方。仕事の合い間に万博ラを楽しまれ、それも小国専門。

「アルジェリア館素敵ですよ」いわれて行ってみると成程成程。こは、某局がレストランのダンサーのへそばかり放送して以来テレビ嫌いとなり、人の口には上りませんでしたが、神経の行き届いた展示でした。「インド館でいただきます」の、食べ過ぎた時にどうぞ」ホロホロとした靉々ものの数を数粒口を含むと成程成程。さては小生の食べっぷりを見ておられたか。ユーモアあって非常に気のつく方、そして何よりも根性のある方。リハールで何時間立ちん坊しても、着物崩さず微笑絶やさず。空前のマヒで車が立ち往生し

た時など、中国自動車道の真中で降りるや会場まで一キロを走り、走り、本番直前にゴールイン。つきそいの大男は瀕死の形相でたどりつくも、島津さんはケロリ。スタッフはただただ恐れ入り「あれが帝女学というものか」成程成程次に、真理ヨシコさん。私とともに番組の司会をしてくださったので、会期の半分は東京の住まいを空っぽにして会場通い。人疲れと、仕事の疲れと、情のない乾いた世界での疲れで大きな目はいつも真赤。芦屋のアソコでケーキを食べて、元町のアソコでステーキ食べて、三宮のアソコでグラスを傾けて、それが楽しみで頑張った方。九月十三日、真理さんはやはり目を真赤にして、人影の減つてゆく会場をあてもなく歩きました。食事を抜いて、その分のお金で日本の土産を買って帰った踊り子もいた。華麗な万国博の楽屋裏で知り合った人達との別れは人一倍淋しかったに違いない。夕映えの中で観客の一人が真理さんに話しかけました。「どこの国の方ですか」一八三日間の万博焼けで真理さんの顔は異国の人のようにうつりました。

もう一人、石錦徳さん。韓国館ホステス、もちろん美人。黒髪素直にお化粧ほんのり、アクセサリーはあるかなし。日本の国から

テレビ「これが万国博だ」の仕事で疲れると、神戸へ走りまわった。ゲストがまた揃って神戸ファ

絶滅しつつあるタイプの佳人です。日本の焼き物と会うのが楽しみで、会ったら洗練され過ぎていて失望し、韓国のは無骨でも素朴な土の匂いにするから好きですとおっしゃった。余談ですが、アジアのパビリオンにはこの絶滅型の佳人が多く、これからの嫁さんは他国に求めた方がよいようですね。お別れの日。神戸でお肉をこ馳走したら、ペロリと平らげてクツクツ笑うのです。「私は肉が大嫌いでお魚ばかり食べてました。ところがあんまりおいしいので、気がついたらみんな食べてしまっていました。それで笑ったのです」

お世辞のいい方まで気に入った。会期中、神戸は、私達にとって傷を癒す街でした。それにしても、万国博との別れの辛さは、やはり人間との別れの辛さです。星空に星となりゆく

飛機を追う

のじぎくの塔と

風車

藤本ハルミ

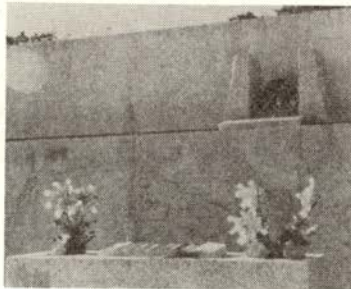
△ファッション・デザイナー△



クルクルクルクル風車は無心に

廻る。真白に光るのじぎくの塔の前で琉球娘の花傘のような赤と青の風車は、小さく可憐で、あまりにも寂しい空間を埋めようとしてもするように一生懸命廻っていた。

各県が沖繩で戦死した英霊のため、競って慰霊塔を建てたという摩文仁の丘にやって来た時、南国の空はあくまで青く、各県民の心のこもった石碑がそれこそ思い思いのスタイルでならび立っていた。ここは一大公園に指定されて



のじぎくの塔と風車

いるとかで、何となく明るく、それでいて人の心をシンとさせるような奇妙な雰囲気を持っていた。

それぞれお国ぶりを見るように、富山の碑は高く聳え立つ立山を表現し、なにわの碑はいかにも大阪らしく黒い石にいろいろな歌を彫りこみ、何となくにぎやかな感を持ち、こちらにすればまるで草深い田舎のように思っている県が、超モダンでびっくりしたりした。

わが愛する兵庫県ののじぎくの塔は、黒いまん丸のみたま石を遺族と県民を表わす二枚の合掌石で抱き、後にはそれを守るように横に長々と白い御影石が横たわっていた。最初はのじぎくが咲きみだれていたらしいのに、南国の気候風土に合わないのかすっかり枯れはてて、白々としたその眺めはモダンな近代造型美を持ちながらあまりにも寂しかった。

摩文仁の丘の頂上近く、第三十二司令官牛島中将が寄せ来る敵の前に立腹切ったといわれる黎明の塔のあたりに売店が出ていると聞いて行って見たが、小さなハイビスカスの花束がチョココンとあるだけで気に入るようなものは何もない。フトその横にバケツの中でクルクル廻っている風車を見つけ、O女史と私は「これにしよう、」と叫んだ。

白く大きいのじぎくの塔に対してほんの豆つぶほどの風車なのに、地下の英霊をなぐさめようとしてもいうように、クルクル、クルクルと今にも倒れそうになりながら一生懸命廻って、見つめている私達は胸がつまり、涙が流れた。

兵庫県の花でなくともよい。南国の強い太陽に敗けない花を植える事が出来ないものだろうか？のじぎくの塔を立去りながらどうぞ倒れないで何時までも廻ってい

ておくれと風車に祈らずにはいられなかった。

成駒屋 勝ちさんの 思ひ出

西脇 親

△神戸土地建物KK取締役社長V



成駒屋の勝ちさんがなくなつてはや一カ月になる。暑かったあの告別式も無事すんで今は秋風が肌にくく感じる。月日の経つのは早いものである。勝ちさんは誰からも親しまれ可愛がられた。大きな丸い眼をくりくりさせながら早口で語る彼の笑顔が今でも目の前に浮かんでくる。彼はやさしい心の持ち主で、よく年下の人の面倒を見ていた。彼はまた、話術の大家でもあった。お偉方の気むずかしい人達も、彼の鮎を握りながらぼつぼつと語る世間話に乗せられてつい盆を重ね、御気嫌で帰って行く。お客様がやんごとなき高貴のお方でも表面は神妙に振舞っているが、実は憶するところなく茶目っ気豊かな言葉に、かえって気受がよかった。

彼のグループと私は時々ゴルフに行ったがこんな楽しい面白いゴルフはまたとない。彼はスタート前に自分のキャディと懇ろになり、ラフに打ち込んだボールは適当に処理するように話をつけてある。勝ちさんの相手の一人がボールをラフに打ち込むと、彼はご苦労にもラフへ入って行く。これは彼の相手が自分と同じようにそのキャディと懇懇を通じているかどうかを確かめに行くのである。こんなルール違反をお互いに繰り返しつつ、馬鹿話を言い合い罵り合う珍プレーに、キャディ達も笑いこらげていた。キャディさんは面白くて収入の多い彼のグループと廻りたいのは当然である。メンバーでもない彼がどこのゴルフ場でもメンバー以上に人気のあるたのも愉快である。

勝ちさんは酒の方も強かった。陽気で金離れのよい彼の酒席にはいつも華かさが漂い、賑かなよい



在りし日の浜野勝次郎氏<右から2番目>

雰囲気包まれていた。また自然と女性と飲む機会が多く、彼はもてた男性の一人であった。数年前四、五人の仲間と明石から魚釣に出かけた。ところが暑いのに彼は首に包帯を巻いていて元気がない。風邪を引いてといっているがどうも疑わしい。山をかけて問いただすと遂に白状した。数日前ある女性と痛飲の末お互いに酔って絡み合いの結果、勝ちさんの方が先にキッスマークを付けられ、これがもとで既に家庭争議も起きている。ところがその翌日問題の女性が家庭争議も知らぬまま、堂々と成駒屋へ鮎を食べにやって来た。慌てたのは勝ちさんである。彼が彼女と妻君の中に入ってひと苦勞した光景が目につく。

この苦勞話をまるで他人事のように面白おかしく説明する勝ちさんの話術に魅せられて、一同啞然として聞き入るばかりだった。

とんだ魚釣である。それでも意外と鮎がたくさん釣れたし、キッスマークの話が余興に入って楽しい一日であった。明石で獲物を分配して散会したが、どうやら鮎の数匹が彼女の家へ届けられた模様であった。

終りに愛妻和子夫人に亡夫勝ちさんのこと、余りはっきりと書いてしまった事をお詫びして、勝ちさんの御冥福を祈る。